梁取り合い部	FP120BM-0592（H-250×125×6×9㎜以上）

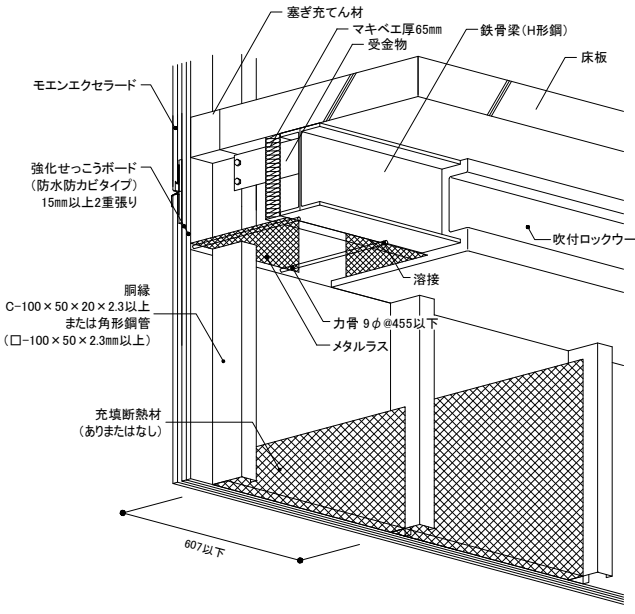
■梁部の施工

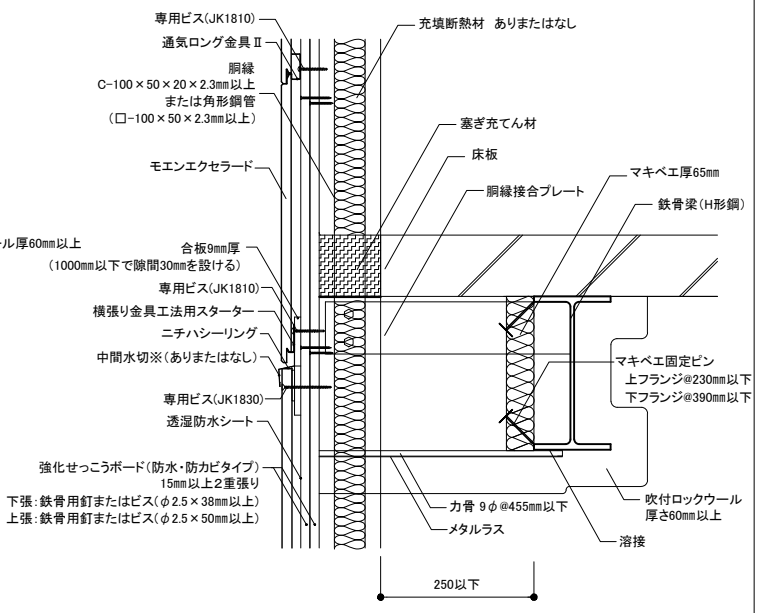
●ラス下地工事は、鉄骨梁と外壁の間に力骨を鉄骨梁に溶接などで固定し、メタルラスを結束線で張り付けてください。
●被覆材（吹付けロックウール）の施工
〇鋼材下地の清掃（鉄骨表面の浮き錆および付着油など、吹付けロックウールの付着性に支障を起こすおそれのあるものは十分清掃してください。）
〇吹付け作業
〇厚さの確保（ロックウール工業会指定の測定具で、吹付け面積5㎡ごとに1ケ所以上厚さ60㎜の確認を行いながら施工してください。）
●養生
〇施工前は、吹付けにより材料が周囲に飛散するのを防止するために、シートなどで養生してください。
〇施工後は、吹付け作業を完了した部分が、衝撃および雨水などによって障害を受けないように、適切な養生を行ってください。
〇寒冷地には、厳重な凍結防止対策養生をおこなってください。
〇吹付け仕上げは、コテ押さえをしてください。

■梁の耐火被覆材の施工

●鉄骨下地は、浮き錆および付着油など、吹付けに支障をきたすおそれのあるものは十分清掃してください。
●マキベエの取り付け
〇巻尺等を用いて寸法取りを行い、カッターナイフまたははさみ等を使用してマキベエを切断してください。
〇マキベエを所定の位置に配置し、固定ピンにて鉄骨梁に取り付けてください。留付間隔は上フランジ230㎜以下、下フランジ390㎜以下とし目地が開かないように注意して施工してください。
〇目地部・取り合い部は隙間のないように注意して施工してください。
●メタルラスの張り付け（中空タイプの場合）：中空形状に応じて、鉄骨の周囲の吹付け面にメタルラスを張り付けてください。
●吹付け下地の取り付け
〇下地の取り付けは、455㎜以下の間隔で力骨（φ9㎜丸鋼）の一端を溶接などで固定し、C形鋼間にバックアップ材（ロックウール保温板など）を固定してメタルラス（平ラス3号または同等品）を力骨へ緊結してください。
●吹付けロックウールの施工
〇吹付け作業は、材料の配合、吐出量の調整および吹付け作業などについて、ロックウール工業会編「吹付けロックウール被覆耐火構造施工品質管理指針」に従い、規定の品質を確保してください。
●外壁の施工
外壁の施工は、プラスター・モエン外壁耐火構造各部納まり図をご参照ください。

■鉄骨梁（250×125×6×9㎜以上）





※図は緩衝目地を想定した中間水切ありで表現しています。

※認定書別添の内容をご確認ください。